

技能評価システム移転促進(SESPP)事業

事業実施報告書【ベトナム】

- ◆2018年1月15日(月)～18日(木)
- ◆ベトナム・ハノイ市 ハノイ工業職業短大(HIVC)
- ◆旋盤2級 技能評価トライアル・技能評価者認定

平成30年3月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 平成 30 年(2018 年)1 月 15 日(月)～18 日(木)
- (実施場所) ベトナム社会主義共和国 ハノイ市 ハノイ工業職業短大(HIVC)
- (職 種) 旋盤2級 技能評価トライアル・技能評価者認定
- (講 師) ・川崎 敏氏((株)デンソー技研センター)
・稲川 文夫氏 (SESPP 事務局 技術顧問)
- (受講者数) ①技能評価トライアル 評価者: 9名 受験者 12 名
②技能評価者認定対象者講習 7 名
- (実施日程)

日時	活動名(指導内容)	
1 月 15 日(月) 8:30～16:30 【技能評価トライアル準備・評価者認定】	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・評価者認定の趣旨と手続き等を説明 ・評価者チェックシートの説明と記入 ・トライアル時の役割分担を決め分担表を作成 ・トライアルのタイムスケジュールの作成(2 回分) ・実技試験会場に移動してトライアルの準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定のための履歴書や申請書の書き方を説明 ・評価者 9 のうち 7 人が認定対象者。 ・受験者の内 1 名が実技試験免除。内 3 名が学科試験免除
1 月 16 日(火) 8:30～17:50 【技能評価トライアル】	<ul style="list-style-type: none"> ・技能評価トライアル開会式 ・学科試験(受験者9名) ・実技試験 1 回目(受験者 5 名) ・整理・整頓、明日の会場準備 	(開会式での挨拶者) ・Binh 副校長・内野 JICA 専門家・川崎氏・稲川氏
1 月 17 日(水) 8:00～18:00 【技能評価トライアル】	<ul style="list-style-type: none"> ・受付 ・実技試験 2 回目(受験者 6 名) ・片づけと清掃 	
1 月 18 日(木) 8:00～14:00 【技能評価トライアル】	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の測定・採点(受験者 11 人の中の 7 製品) (見栄え、寸法、作業態度、作業時間を採点・集計) ・トライアル閉会式 ・評価者認定対象者へのヒアリング (観察・評価ができなかった事項を質問し、知識や考え方を確認し、評価者実務遂行能力のレベルを判断) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4 製品は未完成のため評価対象から失格 ・学科試験合格者:4 名 実技試験合格者:1 名 学科・実技とも合格した者:1 名

2. 講師講評

◆総評

旋盤職種では、2016年の旋盤3級評価者認定において9名の認定評価者が誕生しており、ハノイ地域の技能検定実施に大きな役割を担っている。

今回の評価者認定では、南部(ホーチミン市、ビンロン市)から4名の評価者認定対象者が参加し、評価者としての高いパフォーマンスを発揮していた。彼等が認定評価者として認定されれば、南部地域で実施する旋盤職種の技能検定では、評価者として重要な役割を果たしてくれるものと期待できる。また、彼等を中心にして評価者チームを編成して若干の補習を行えば、南部地域で旋盤3級の技能評価トライアルの実施は十分可能と思われる。

内野専門家の調査によれば、南部地域の日系企業からの受験希望者が非常に多いとのことである。認定評価者が自立して技能検定を実施・運営する状況をぜひ見てみたいものである。

◆今後の研修について

- ①今回の実技試験受験者11名の結果は、標準時間内に完成させた者:0名、打ち切り時間内に完成させた者:7名、未完成(失格)の者:4名であった。また、寸法公差を大きく外して大きく減点された者が多くおり、時間内に寸法公差に収めるとい加工練習量が少ないことがうかがえる。

受験者に練習回数を尋ねたところ、実技試験課題を練習した回数は、1~2回の者が多かった。日本では、旋盤2級実技試験に合格するためには、旋盤作業の経験者でも5~6回は練習して試験に臨んでいる。それでも、合格率は25%程度である。

ベトナムで合格率を高めるためには、旋盤2級VTMで実践した標準作業書に基づいて多くの練習を促すことが必要だといえる。

- ②トライアルの2日目に2台の旋盤のチャックにトラブルが生じて、2名の受験者が試験を中断しなければならない状況になった。ボルトの接触不良・締め付け力不足で、チャックが緩むことが原因のトラブルであった。短時間では修理できないので、予備の旋盤で試験再開を試みたが、こちらも不具合があり、結局試験に使用中の旋盤が開くのを待って、試験を継続することになった。いずれの不具合も、技能検定実施前に点検・メンテナンスをしておけばこのようなトラブルは容易に回避できたはずである。今回のトラブルは、日常の機械の点検・保守がおざなりにされていること示している。今後はベトナムの指導員に旋盤の基本的な点検項目とメンテナンスの仕方を指導する短期間の訓練コースが必要であると感じた。

3. 受講者へのアンケート結果

◆技能評価トライアル(回答者 8 名(評価者9名中))

満足度: 大変満足=8 人 (満足度 100%)
役立ち度: 大変役立つ=8 人 (役立ち度 100%)
継続性: 是非継続すべき=7 人 継続すべき=1 人 (継続希望度 100%)

【意見・感想】

- ・日本式技能検定事業を通じて職業訓練学校では、教育の質を向上させ、ベトナムの機械産業と経済の成長に寄与できている。
- ・技能検定の運営及び評価方法に関して、事業の実施機関はベトナムの職業訓練校の講師に対していろいろな知識と経験を伝達してくれた。
- ・今まで参加してきた数回の評価者講習を通じて、日本の専門家から専門知識だけでなくマナーも勉強できた。本技能評価制度が一層普及していくことを期待している。
- ・専門家から大変熱心に教えてもらった。
- ・HIVC での準備がよくできていた。
- ・ベトナム南部の多くの学校を参加させるために、技能評価トライアルをホーチミン市で開催して欲しい。(2 件)
- ・学校の講師を本事業に参加させるために、所属学校が全部の出張費用を負担している。今後、プロジェクト関係機関が技能評価事業に学校の講師を参加させる費用の一部を負担して欲しい。(2 件)

◆技能評価トライアル(受験者 11 名)

満足度: 大変満足=6 人 満足=5 人 (満足度 100%)
役立ち度: 大変役立つ=9 人 役立つ=2 人 (役立ち度 100%)
継続性: 是非継続すべき=10 人 継続すべき=1 人 (継続希望度 100%)

【意見・感想】

- ・ベトナムの職業技能の向上に有意義な支援をしていただき、日本の専門家にとっても感謝している。
- ・この技能評価トライアルを実施していただいた HIVC、JICA にとっても感謝している。知識と経験を高めるうえでとても役立った。
- ・練習の機会と受験の機械を与えてもらったことに感謝します。
- ・この技能評価トライアルは、受験者にも評価者にもとても役立つ。
- ・職業技能評価トライアルの実施機関にとっても感謝している。次回の技能評価トライアルにも参加したい。
- ・このトライアルはとてもよかった。私たちの技能レベルを適切に評価し、技能レベルを高めるために、このトライアルが継続されることを望みます。
- ・この技能評価トライアルは、とても専門的で、かつ厳格である。しかし、受験者が事前に勉強するための参考資料が入手できない。より良い結果を得るために、旋盤の実技を 2 回できたらと思う。
- ・もし可能なら、この技能評価トライアルを年 2 回開催してほしい。そうすれば、他の人たちがこの試験を受験できる機会が多くなる。
- ・ 15 ± 0.05 の寸法測定にマイクロメータが使用できないので、正確な測定がとても難しかった。